

トーイング遊具で安全に楽しむために

【平成30年7月】

トーイング遊具とは、プレジャーボート等に曳航されるバナナボート等の遊具をいう。

トーイング遊具を曳航中に、他の水上オートバイや筏等に衝突し、遊具に乗っている人が長期間入院する事故が発生しています。

トーイング遊具で楽しむ際は、以下の点に注意し、安全に楽しみましょう！



トーイング遊具（ビスケット）

事件事例

事例1 モーターボートにより、遊具を曳航中、搭乗者が落水し、病院に搬送されたもの。（肋骨骨折、内腹斜筋損傷）

事例2 水上オートバイにより、遊具を曳航中、錨泊中のプレジャーボートに接触し、搭乗者が負傷したもの。（左腕骨折、左骨盤骨折）

事故の傾向

- ✓ トーイング遊具による事故の傾向として、他の水上オートバイへの衝突や遊具から落水した際と同乗者との衝突、無謀な運航による遊具と他の遊泳者との衝突等が主なものです。
- ✓ トーイング遊具に乗る際は、**保護具（ヘルメット等）及びライフジャケットを着用**しましょう！



事故防止のために・・・

障害物がない、広くて安全な海域で行いましょう！

曳航船には見張り役を同乗させましょう！

見張り役は、遊具に乗っている人の合図を操縦者に伝えるとともに、**転倒した場合には直ちに操縦者に知らせましょう。**また、後方の安全確認も常に行いましょう。

安全な速力を心がけましょう！

トーイング遊具を曳航する場合は、遊具に乗っている人の意思ではコントロールできないことを考え、**旋回時や遊具が波を越えるときは、十分に速力を落として航行しましょう。**

保護具を着用しましょう！

曳航される人は、旋回時等に振り落とされたりすることがあります。曳航する人は、遊具に乗る人に対し、**保護具・ライフジャケットを必ず着用させましょう。**

合図を決めておきましょう！

曳航する人、遊具に乗る人の間に合図を決めておき、加速してほしいとき、そのままの速力で走ってほしいとき、停止してほしいときなど、**ジェスチャーで合図するようにしましょう。**

曳航ロープを巻き込まないように注意しましょう！

弛んだ曳航ロープに曳航船の船尾部分を近づけてしまうとプロペラに絡まり、航行不能となってしまう。曳航ロープとの位置関係に注意しましょう。

運輸安全委員会ダイジェスト第17号（平成27（2015）年4月発行）には、トーイング遊具に係る事故について掲載（P.7）されています。あわせてご覧ください。 http://www.mlit.go.jp/jtsb/bunseki-kankoubutu/jtsbdigests/jtsbdigests_No17.html

お問い合わせ



海上保安庁

〒100-8976 東京都千代田区霞が関2-1-3
（安全対策課）03-3591-6361

海の安全情報

検索